

小美玉市の歴史を知ろう⑤

江戸時代の水運②

小川河岸と下吉影河岸

元和8年(1622)、松岡城主戸沢安盛が出羽国最上郡に移封になり、松岡(高萩市)とともに、小川は水戸藩に編入されました。小川河岸は、元和10年(1624)、小川御殿(現在の小川小学校)に常番を置き、江戸に2隻の米船を送ったことに始まります。しばらくして、常番は「小川運送方役所」となり、「紅葉郡鑑」という文書によると、運送奉行1名、手代4名

中間3名、船頭10名が配置されました。運送方役所での職務は、①領内年貢米の取扱い②藩邸用物資の輸送③藩用船の借上④運賃の査定⑤藩船の維持管理などがありました。享和3年(1803)、運送方役所は上戸村(潮来市)に移転されてしまいます。

昭和前半期に河川改修される以前の旧園部川は、小川河岸から河口まで、「四八曲目」と言われて曲りくねっており、現在の園部川よりも東側を流れていました。小川河岸は川岸町の広範囲にあって、御用河岸は、JA常陸小川川岸倉庫周辺に所在していました。現在では、その繁栄した面影を探すことは難しいですが、改修前の川筋に橋の欄干が残されています。1710年代になると、御用河岸ばかりでなく、民間河岸も開設されるようになり、米輸送を請け負う「借上船」も出現しました。御用河岸の対岸には、江戸で消費される薪が山のように積まれたそうです。小川、下吉影河岸の薪問屋が扱う薪は「サクラマキ」の名前で江戸の人々に重宝がられました。

慶安4年(1651)、磐城平藩は、水戸藩の了解を得て、下吉影に河岸を設置して、巴川河口の串挽までの航路を開きました。潤沼の海老沢、網掛に荷揚げされた荷物は、下吉影河岸までの約8kmを陸送して輸送されました。小川河岸までは約17kmありますから、その距離は半減されました。しかし、巴川は、川幅が狭く、水量もあまり豊富ではなかったため、高瀬船の航行は困難でした。したがって、下吉影から串挽までは小型船で運ばれ、串挽で小川河岸から回送された高瀬船に乗せ換えて江戸に向かいました。下吉影



現在の下吉影河岸跡



明治時代の小川河岸の復元模型



現在の小川河岸跡 道路に橋の欄干が残っている

河岸は県道大和田桃浦線を下吉影宿から鉾田市大和田地区へ向かった、巴川に架かる大和田橋の北側にありました。天保3年(1832)、下吉影河岸には、運送方役所が上戸村から移転されてきます。

船頭たちは、荷物を輸送するだけではなく、江戸のさまざまな情報を伝えました。例えば、船頭の日記によると、井伊直弼大老が暗殺された「桜田門外の変」は事件から3日後にもたらされています。

このように、両河岸は水戸から江戸まで物資を輸送する水運の一大拠点として繁栄しました。

〈次回の掲載は5月号です〉
【小美玉市教育委員会
生涯学習課 ☎26-9111】

★キッズヒップホップダンス★生徒募集中!!

場所:小川文化センター2F
日程:毎週土曜日
◆キッズクラス(3歳~6歳)
14:30~15:30
◆小学生クラス(6,7歳~)
15:30~16:30
月謝:キッズクラス...¥3,000-
小学生クラス...¥4,000-
講師:KENTA/MARI

4/4(土)、11(土)
無料体験レッスン
開催いたします!!

ヒップホップダンスとは?
アーティストで言うところのEXILEや
W-indsが踊っているようなダンスです。



詳しくはこちら → <http://www.ibaraki-dance.jp/dragonroad>

割れてしまった!
ご安心下さい

くるまのガラス

純正ガラス・格安優良ガラス
ご予算に応じ交換します

技術にも! 価格にも!
自信があります!

自動車保険の手続きも 最初から全てお任せ下さい!

TEL 0299-22-3740 株式会社 みながわガラス

石岡市国府7-8-1(6号国道恋瀬橋北信号角)